



令和6年1月9日



かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

1月号

上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

鍛え合う子

ひろがれ みんなのいいところ

校長 小林 京子

新しい年がスタートしました。年始から北陸では、大きな地震があり、心穏やかではられません。被災地の方々には心よりお見舞い申し上げます。私たちも身を引き締めて、今日から学校に戻ってきた子どもたちの教育にあたる所存です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

12月の授業終了日の冬休み前朝会では、子どもたちのいいところを子どもたちの姿を通して伝えました。その内容は、①家庭学習（自学ノート）をがんばっている1年生、3年生のノート②道具の手入れができて2、4、5年生の筆箱③ダンゴムシやマグロの生態について調べてきた2年生、3年生の発表、といったものです。

私は、日々、子どもたちががんばっていることやいいところが学校中にひろがっていくといいな、と思いながら学校の中をぐるぐる回っています。子どもたちは、いつも校長先生は何をしているのだろう、と思っているかもしれません。教室にふらりと入っていくので、どんな時に子どもたちの様子を見ているのか、というきまりはありません。

いつも友達の話をしっかり聞きながら学習しているな

難しい課題に真剣に向かっているな

歌詞の意味を考えながら歌っているのだろうな、いい表情だな

このように、教室を回っているとたくさんのおよびに出合います。「九九を聞いてください。」と、職員室を訪問する子、苦手だった漢字をたくさん練習して50問テストでノーミスの合格をした子もいます。ある6年生は、強い雨風の翌日に落ち葉を拾い集めたり、乾燥気味の土に水やりをしたりしています。忘れずにウサギ小屋にえさやりに行く飼育当番の子どもたちもいます。挙げればきりがなほ、子どもたちのいいところが見つかります。

私は、小学校期の子どもたちにとって、自分のために努力すること、人のために力を出すことがとても大切なことだと考えています。日々の学校生活では、「精一杯～する」ということを大事にし、それができている子どものよい姿を価値づけ、ひろめることが教師の大事な役割だとも考えています。「自分一人が頑張ったって仕方ない」ではなく「自分ががんばったら、みんなにいいことがひろがった」そんな学校にしていきたいと考えます。

先月、市のいじめ防止市民フォーラムに出席した6年生は、「人のいいところを見つけながら生活していくことで、いじめはなくなるのではないか、ということ学んだ。」と児童朝会で全校のみんなに伝えました。この学びもまた、みんなにひろがっていくことでしょう。

今年も上瀬谷小学校の子どもたちのいいところをもっともっとひろげるべく子どもたちと一緒に過ごしていきたいと思ひます。